

KYOKABE



イメージ

富士川の「京壁」は天然土そのままの素材感を生かしながら、剥離や亀裂をなくし作業性を良くした、自然素材を活かした壁材です。純日本風建築・茶室・数寄屋造りなどに最適です。

天然の京土から作られる富士川の「京壁」は、
落ち着いた”和”の趣きを演出します。

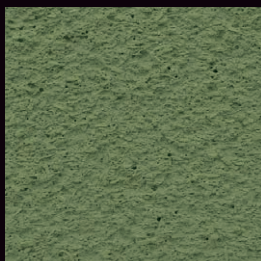
京壁

®

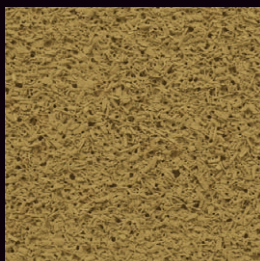
和風内装仕上げ材

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆
この商品は制限なく居室に使用できます
JIS A 6909 建築用仕上塗材
薄付け仕上塗材 内装薄塗材 W

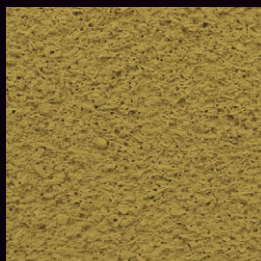
色 味



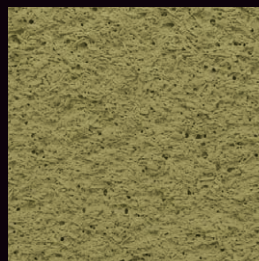
いすず
#2 (五十鈴)



ほんくすべ
#3 (本楠部)



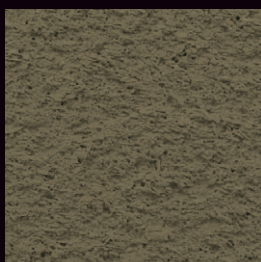
きじゅらく
#4 (黄聚楽)



うじ
#5 (宇治)



はくじゅらく
#7 (白聚楽)



ねずみつち
#8 (鼠土)



あさぎ
#9 (浅黄)



いなりやま
#10 (稻荷山)



きょうさび
#11 (京錆)



ほんじゅらく
#12 (本聚楽)



あまいろ
#13 (亜麻色)

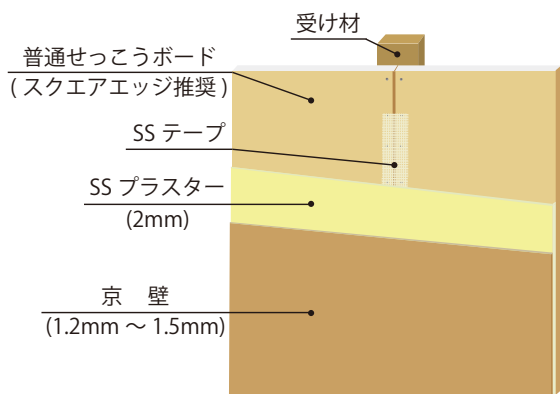


ねこやなぎ
#14 (猫柳)

特 徴

- ① 天然土には調湿機能があり、湿度を安定させ結露防止効果があります。
- ② 変退色しにくく、柔らかな感触で、断熱効果・吸音効果があります。
- ③ 作業性が良く、剥離や亀裂の心配がありません。
- ④ 天然素材を使用し、健康住宅志向にマッチします。
- ⑤ 練りやすくダマなどのできる心配はありません。

標準工程図

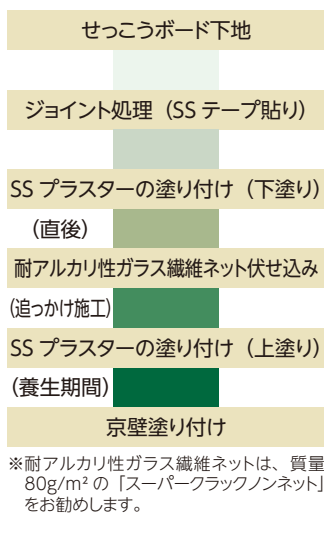


施工フロー

一般的な工程



クラック予防ネットを使用する場合



施工方法

- ◎ 下地はせっこうボードにせっこうプラスター（SS 工法を適用）を平坦に仕上げ、十分に乾燥させてください。
- ◎ 練り混ぜ／プラスチック容器に標準加水量の約 8 割の水を入れ、これに本品を全量加え、ハンドミキサーで固まりがないように十分練り上げた後、10 ～ 15 分程度練り置きをして、残りの水を加えて十分攪拌します。
- ※ 水の入れ過ぎは塗り面がダレますので、注意してください。
- ◎ 塗付け／コテにて塗り付け、直ちにコテムラを取るようにします。この時はコテは必ず、同一方向に使用してください。撫でコテをあまりかけない方がザックリした仕上がりになります。
- ※ コテは、ステンレス製及びプラスチック製のものをご使用ください。本焼きのものをご使用頂きますと、変色の可能性があります。

詳細は施工マニュアルをご覧ください。

規格

国土交通大臣認定		名 称	建築用仕上塗材
認定番号	区分	呼 び 名	内装薄塗材 W
NM-8574	不燃材料	1 袋の正味質量	1.3kg
QM-9814	準不燃材料	標準塗り面積	3.3m ²
RM-9363	難燃材料	標準加水量	約 4 割
繊維壁材塗り		可使用時間	5 時間
NPO 法人湿式仕上技術センター		有効期間	3 年間
富士川建材工業株式会社		梱 包	段ボール箱 10 袋入り

注 意 事 項

◆ 安全上の注意 ◆

- 目に入った場合は、ただちに清浄な水で最低 15 分間、目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受けてください。
- 粉塵等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気が清浄な場所で安静にし必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合は清浄な水で口の中をよく洗浄し、直ちに医師の手当を受けてください。
- 取り扱い後は手洗い及びうがいを十分行ってください。
- 飛散した材料は、掃除機等で吸い取って回収してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- ◆ 保管上の注意 ◆
- 湿気・直射日光を避け、パレットなどを敷き、床面より離して保管してください。
- 開封した材料は早めに使い切ってください。
- 製造年月日より、3 年以内に使用してください。
- ◆ 輸送上の注意 ◆
- 箱のつぶれ、落下がないように荷崩れ防止等に配慮してください。
- 降雨等の水ぬれに配慮してください。

◆ 使用上の注意 ◆

- 気温 5℃以下の場合は作業を中止するか、適切な保温措置をとってください。
- 他の材料の混入は避けてください。
- 天然土を使用しておりますので、土層により仕上がりが見本と多少変化する場合があります。一壁画は一度に混練りし、塗継ぎは避けてください。
- 練り混ぜには清浄な水を使用してください。
- 使用後の器具は水で洗浄してください。
- 施工後は通気通風をよくし、乾燥を早めてください。
- 混練りした材料は加水後 5 時間以内に使用してください。
- 練り水、容器、攪拌機などはきれいなものを使用してください。
- 施工面以外は養生し、万一付着した時は、すぐに水洗いしてください。
- 鉄部には錆止めを、古壁・合板にはシミ止めを、アルカリ性の下地にはアク止めをしてください。

◆ 廃棄上の注意 ◆

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。



— モノづくりから仕事づくりへ —

富士川建材工業株式会社

～ 東京・横浜・名古屋・大阪・広島・福岡～

URL <https://fujikawakenzai.co.jp>

e-mail mail@fujikawakenzai.co.jp

TEL 045-772-1811 FAX 045-772-0467